

新製品情報

IRI・平坦性 計測・解析装置 レーザ・プロファイラ

LP-3000

Debut!

特長

- 従来の平坦性(3m σ)とIRIを同時計測可能
- 平坦性は舗装調査・試験法便覧、IRIはNEXCO試験方法に準拠
- 最大計測速度は4km/h(低速プロファイラとしては日本初)
- 直観的に使用可能なカラー液晶操作部
- 提出書類用データを簡単作成
- ProVALへのERDデータ出力可能

仕様

- 計測方式 : レーザ変位計+慣性センサ(非接触式)
- 精度 : NEXCO試験方法に準拠(IRI)
- 最大記憶容量:最大100車線(1車線の最大計測距離は10kmまで)
- 連続使用時間:10時間
- 充電時間 : 8時間
- 外形寸法 : 計測部 310×200×150(mm)9.5kg
操作部 150×110×40(mm)0.5kg
- 計測速度 : 4km/h以下



乗り心地に影響する道路の平坦性を高精度に計測！
IRI(国際ラフネス指数)に対応して新登場。

IRI・平坦性 計測・解析装置レーザ・プロファイラLP-3000は、2005年に発売開始以来、道路補修の作業効率向上に役立つ製品としてご好評いただいているLP-300Sの上位機種です。従来の平坦性(3m σ)に加え、IRI(国際ラフネス指数: International Roughness Index)を同時に計測・出力できるのが特長です。IRIとは1986年に世界銀行によって提唱された路面(縦断プロファイル)の評価方法です。路面の平坦性評価する従来の方法(3m σ)と異なり、乗り心地にも大きく相関する指数となることから国際的に一般化しつつあります。日本においてもNEXCOの出来形基準に採用され、今後広く普及することが見込まれています。LP-3000の計測部には、装置と路面との距離(高さ)を計測する2つのレーザ変位計と、計測時の姿勢変化による誤差を補正する慣性センサ(傾斜計、ジャイロ)が内蔵されており、極めて信頼性の高い計測データを出力します。



計測部



操作部

お問い合わせ 通信制御システムカンパニー センサ機器部 TEL:03-3731-2631